

## 2 麦 類

### (1) 要 旨

#### ア 作付面積

平成24年産4麦（小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦）の子実用作付面積は26万9,500haで、前年産に比べて2,200ha（1%）減少した。（表2-1、図2-1）

#### イ 収穫量

平成24年産4麦の子実用収穫量は103万tで、前年産に比べて11万2,200t（12%）増加した。（表2-1、図2-1）

図2-1 4麦（子実用）の作付面積及び収穫量の推移（全国）

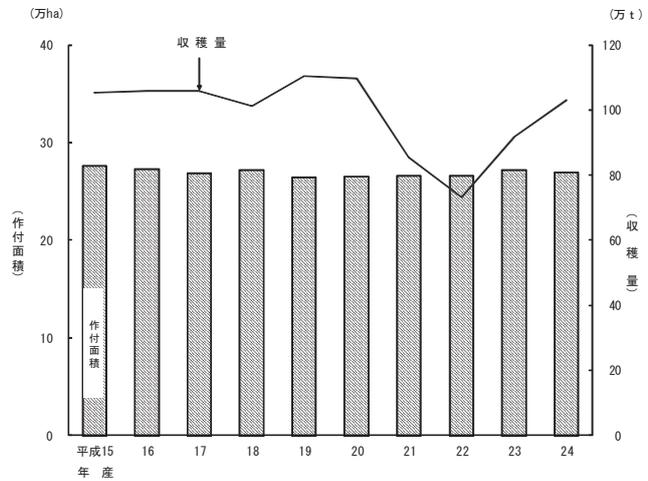


表2-1 平成24年産4麦（子実用）の作付面積、10a当たり収量及び収穫量

区 分	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						( 参 考 )	
				作付面積		10 a 当 たり 収 量	収 穫 量		10a 当 たり 平 均 収 量 対 比	10a 当 たり 平 均 収 量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比	%	kg	
	100ha	kg	100 t	100ha	%	%	100 t	%	%	kg	
全 国											
4 麦 計	2,695	...	10,300	△ 22	99	nc	1,122	112	nc	...	
小 麦	2,092	410	8,578	△ 23	99	116	1,115	115	108	378	
二条大麦	383	293	1,124	7	102	92	△ 67	94	86	341	
六条大麦	171	280	478	△ 3	98	126	91	124	97	289	
はだか麦	50	245	122	△ 2	97	92	△ 15	89	84	290	
北 海 道											
4 麦 計	1,212	...	5,928	0	100	nc	870	117	nc	...	
小 麦	1,192	492	5,861	0	100	117	862	117	116	425	
二条大麦	20	337	67	0	98	116	8	114	101	333	
都 府 県											
4 麦 計	1,484	...	4,374	△ 20	99	nc	255	106	nc	...	
小 麦	901	302	2,717	△ 22	98	113	253	110	96	316	
二条大麦	363	291	1,056	7	102	92	△ 76	93	85	342	
六条大麦	171	280	478	△ 3	98	126	91	124	97	289	
はだか麦	50	245	122	△ 2	97	92	△ 15	89	84	290	

注：1 「(参考) 10a 当たり平均収量対比」とは、10a 当たり平均収量（原則として直近7箇年のうち、最高及び最低を除いた5箇年の平均値）に対する当年産の10a 当たり収量の比率である（以下各統計表において同じ。）。

2 全国、都府県及び全国農業地域別（以下「地域別」という。）の10a 当たり平均収量は、各都府県の10a 当たり平均収量に当年産の作付面積を乗じて求めた平均収穫量を地域別に積み上げ、当年産の地域別作付面積で除して算出している。

ただし、地域別内の全ての都道府県の10a 当たり平均収量が揃わない場合には作成しない（以下各統計表において同じ。）。

3 六条大麦及びはだか麦については、北海道には作付がない。

表 2-2 平成24年産小麦（子実用）の作付面積、10a 当たり収量及び収穫量（全国農業地域別）

全国農業地域	4 麦 計		小 麦				二 条 大 麦				六 条 大 麦				は だ か 麦			
	作付面積	収穫量	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	(参考) 10 a 当たり平均収量対	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	(参考) 10 a 当たり平均収量対	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	(参考) 10 a 当たり平均収量対	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	(参考) 10 a 当たり平均収量対
	100ha	100 t	100ha	kg	100 t	%	100ha	kg	100 t	%	100ha	kg	100 t	%	100ha	kg	100 t	%
全 国	2,695	10,300	2,092	410	8,578	108	383	293	1,124	86	171	280	478	97	50	245	122	84
北 海 道	1,212	5,928	1,192	492	5,861	116	20	337	67	101	-	-	-	nc	-	-	-	nc
都 府 県	1,484	4,374	901	302	2,717	96	363	291	1,056	85	171	280	478	97	50	245	122	84
東 北	85	166	75	190	143	99	0	33	0	14	10	244	24	90	-	-	-	nc
北 陸	99	308	2	157	3	99	0	50	0	36	98	312	305	108	-	-	-	nc
関 東・東 山	399	1,265	215	346	744	105	134	302	405	88	49	233	114	77	1	281	2	82
東 海	154	459	148	299	443	105	x	187	x	398	6	266	15	109	0	175	0	78
近 畿	102	267	91	266	241	105	2	177	3	76	8	233	18	75	x	285	x	109
中 国	47	128	16	230	36	83	26	322	85	87	x	177	x	97	4	152	6	69
四 国	44	120	18	280	50	90	x	345	x	101	-	-	-	nc	26	268	69	87
九 州	554	1,659	337	314	1,059	86	200	282	563	83	0	400	0	120	17	225	38	79
沖 縄	0	0	0	144	0	91	-	-	-	nc	-	-	-	nc	-	-	-	nc

(2) 解 説

ア 小麦（子実用）

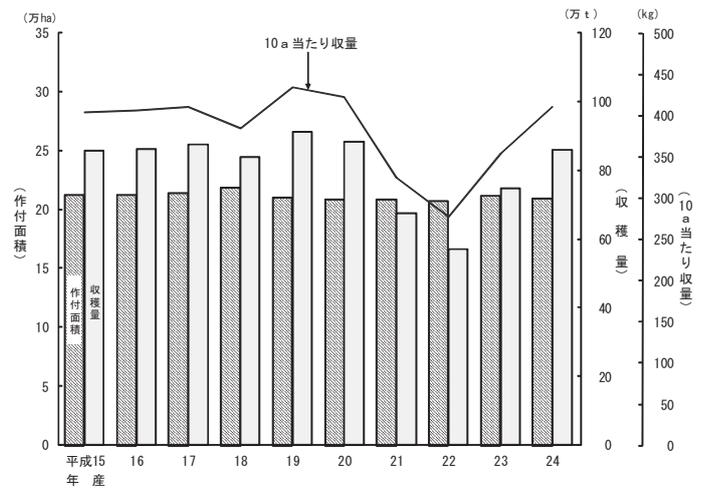
(ア) 作付面積

小麦の子実用作付面積は20万9,200haで、前年産に比べて2,300ha（1%）減少した。

このうち、北海道は11万9,200haで、前年産並みとなった。

一方、都府県は9万100haで、近年作柄が悪かったこと等から他作物（二条大麦等）への転換等により、前年産に比べて2,200ha（2%）減少した。（表2-1、2-2、図2-2）

図 2-2 小麦の作付面積、収穫量及び10a 当たり収量の推移（全国）



(イ) 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は410kgで、前年産に比べて16%上回った。（表2-1、2-2、図2-2）

a 北海道

10 a 当たり収量は492kgで、前年産に比べて17%上回った。

これは、4月以降天候に恵まれ登熟が良好となったことによる。（表2-1、2-2、図2-3）

b 都府県

10 a 当たり収量は302kgで、前年産に比べて13%上回った。

これは、1月下旬から2月中旬にかけての低温等の影響による生育の抑制等があったものの、前年産が収穫期の降雨の影響により倒伏や穂発芽の発生が多く作柄が悪かったことによる。（表2-1、2-2、図2-4）

(ウ) 収穫量

収穫量は85万7,800 t で、前年産に比べて11万1,500 t (15%) 増加した。

このうち、北海道の収穫量は58万6,100tで、前年産に比べて8万6,200 t (17%) 増加した。

一方、都府県の収穫量は27万1,700tで、前年産に比べて2万5,300t (10%) 増加した。(表2-1、2-2、図2-2)

図2-3 平成24年産麦作期間の半旬別気象経過(帯広)

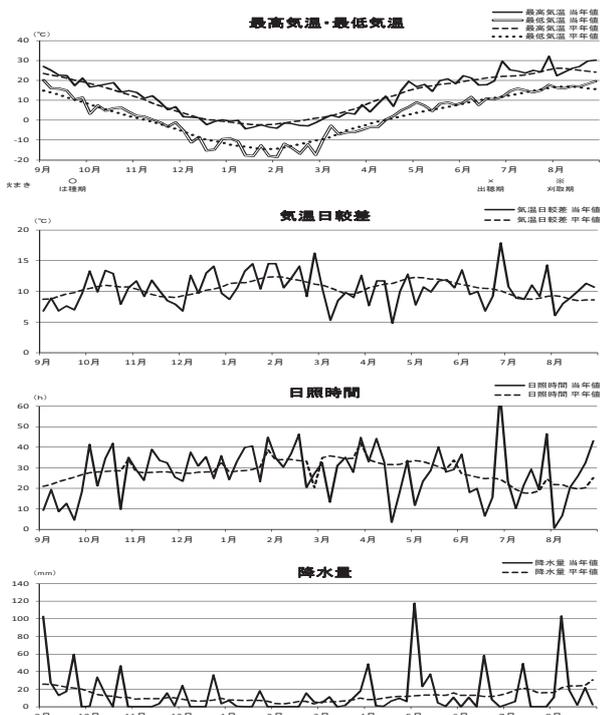
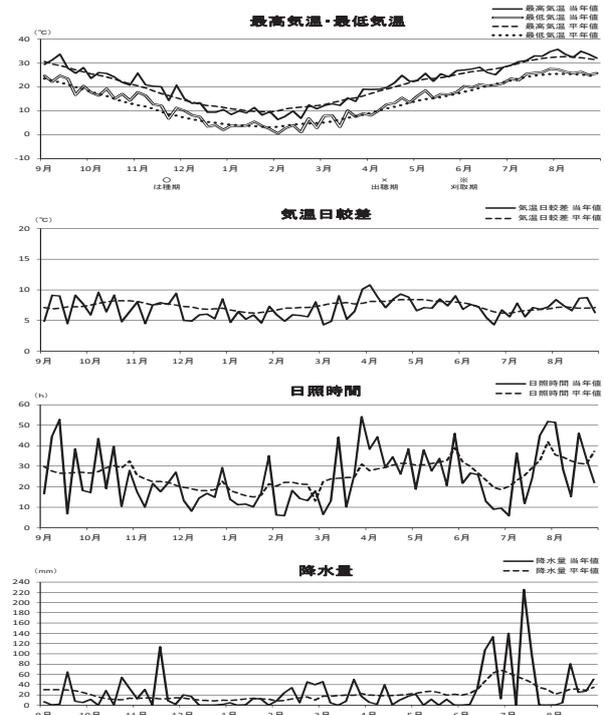


図2-4 平成24年産麦作期間の半旬別気象経過(福岡)



## イ 二条大麦（子実用）

### (ア) 作付面積

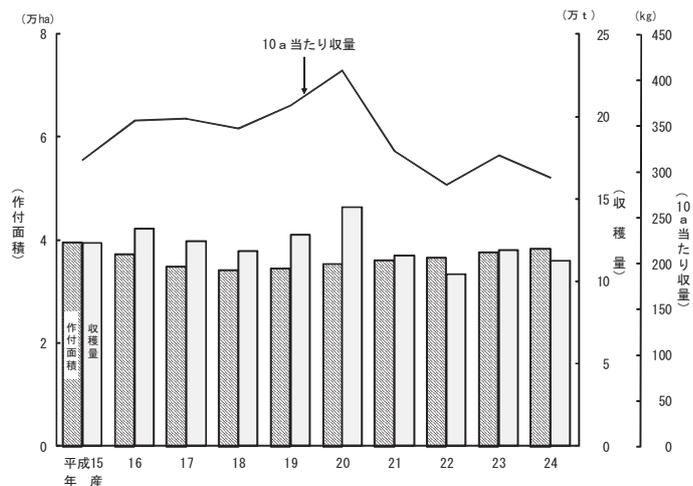
二条大麦の子実用作付面積は3万8,300haで、前年産に比べて700ha（2%）増加した。

このうち、北海道は1,990haで、小麦への転換等により前年産に比べて40ha（2%）減少した。

一方、都府県は3万6,300haで、近年作柄の悪かった小麦からの転換等により、前年産に比べて700ha（2%）増加した。

（表2-1、2-2、図2-5）

図2-5 二条大麦の作付面積、収穫量及び10a当たり収量の推移（全国）



### (イ) 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は293kgで、前年産に比べて8%下回った。

これは、都府県においては種期の降雨の影響による発芽不良や1月下旬から2月中旬にかけての低温等の影響による生育の抑制等があったことによる。（表2-1、2-2、図2-5、2-6、2-7）

### (ウ) 収穫量

収穫量は11万2,400tで、前年産に比べて6,700t（6%）減少した。（表2-1、2-2、図2-5）

図2-6 平成24年産麦作期間の半旬別気象経過（栃木）

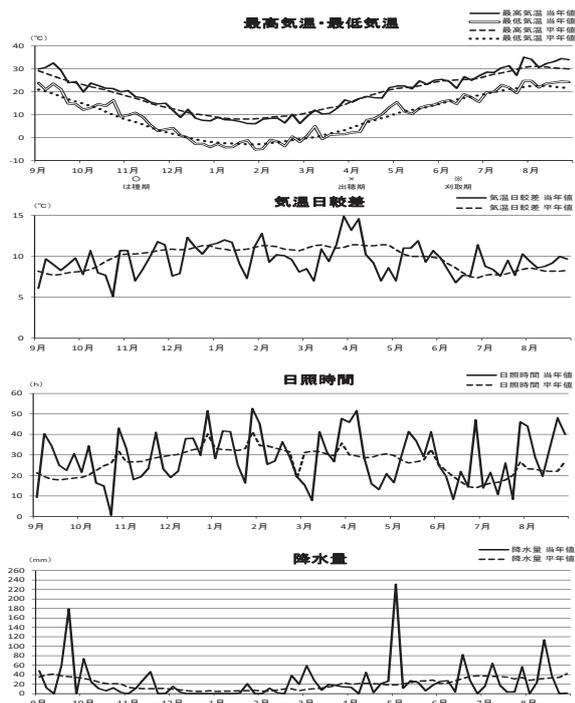
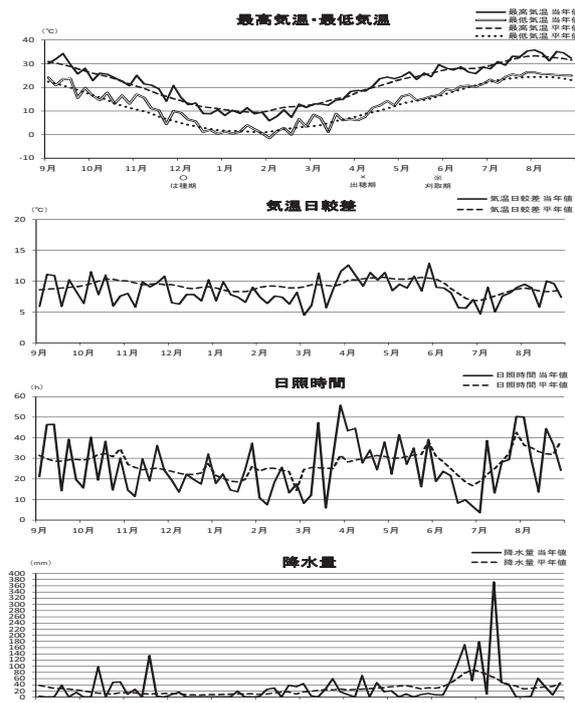


図2-7 平成24年産麦作期間の半旬別気象経過（佐賀）



## ウ 六条大麦（子実用）

### (ア) 作付面積

六条大麦の子実用作付面積は1万7,100haで、北陸地域で大豆等からの転換により増加したものの、東北及び関東・東山地域において他作物への転換等があったことから、前年産に比べて300ha（2%）減少した。（表2-1、2-2、図2-8）

### (イ) 10a当たり収量

10a当たり収量は280kgで、前年産に比べて26%上回った。

これは、昨年融雪の遅れ等の影響により作柄の悪かった北陸地域を中心に、天候に恵まれ生育がおおむね良好であったことによる。（表2-1、2-2、図2-8、2-9、2-10）

### (ウ) 収穫量

収穫量は4万7,800tで、前年産に比べて9,100t（24%）増加した。（表2-1、2-2、図2-8）

図2-8 六条大麦の作付面積、収穫量及び10a当たり収量の推移（全国）

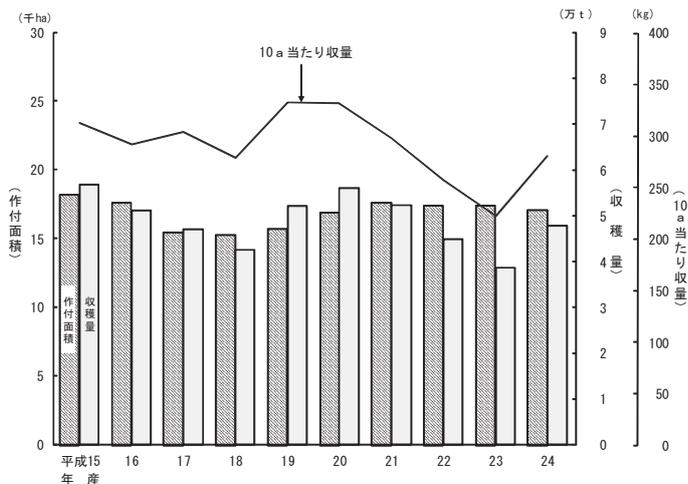


図2-9 平成24年産麦作期間の半月別気象経過（富山）

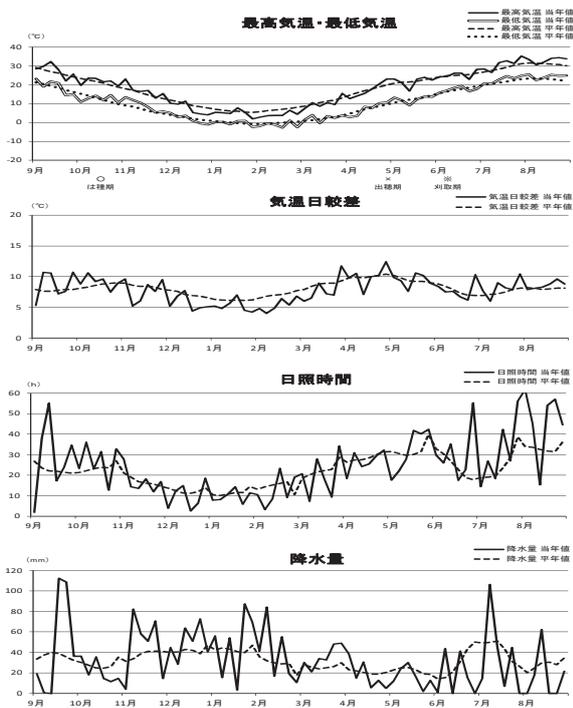
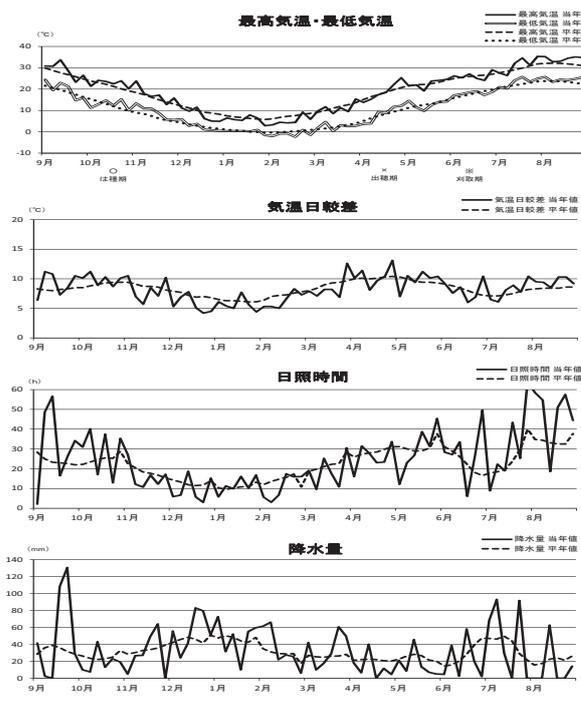


図2-10 平成24年産麦作期間の半月別気象経過（福井）



## エ はだか麦（子実用）

### (ア) 作付面積

はだか麦の子実用作付面積は4,970haで、九州の一部地域において周期的な降雨の影響により、は種を断念したため、前年産に比べて160ha（3%）減少した。（表2-1、2-2、図2-11）

### (イ) 10a当たり収量

10a当たり収量は245kgで、前年産に比べて8%下回った。これは、は種期の降雨の影響による発芽不良や1月下旬から2月中旬にかけての低温等の影響による生育の抑制等があったことによる。（表2-1、2-2、図2-11、2-12）

### (ウ) 収穫量

収穫量は1万2,200tで、前年産に比べて1,500t（11%）減少した。（表2-1、2-2、図2-11）

図2-11 はだか麦の作付面積、収穫量及び10a当たり収量の推移（全国）

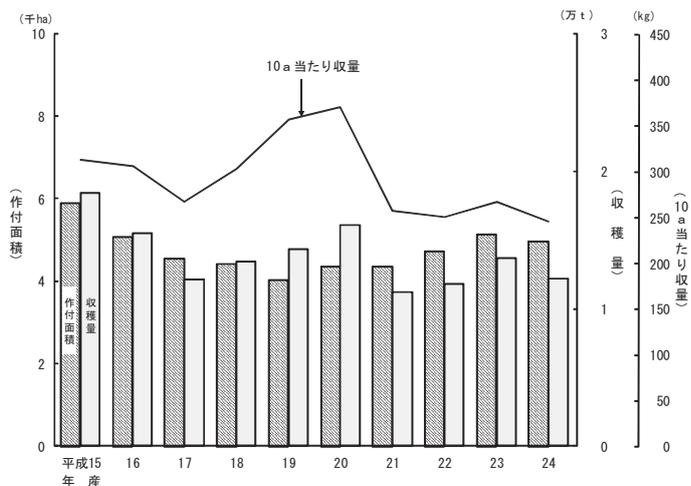


図2-12 平成24年産麦作期間の半旬別気象経過（愛媛）

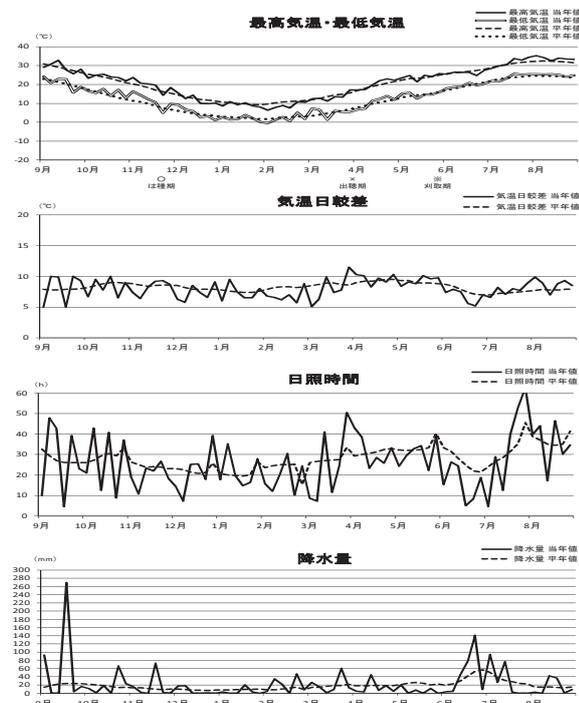
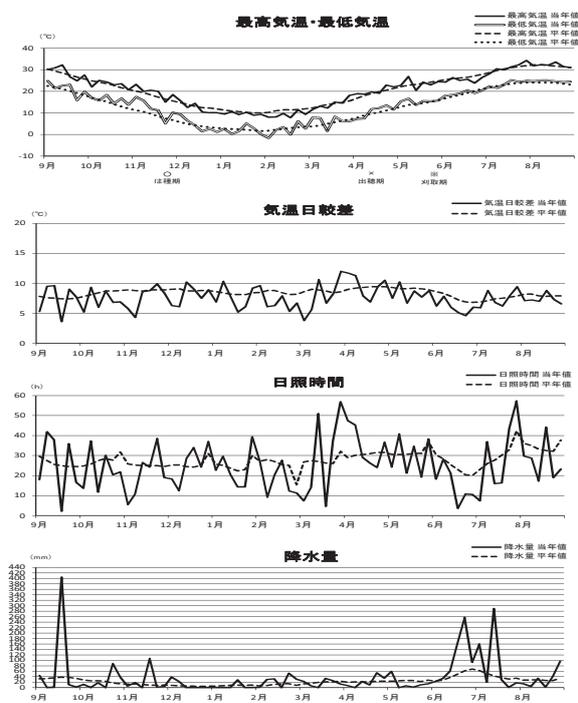


図2-13 平成24年産麦作期間の半旬別気象経過（大分）



### 3 豆 類・そ ば

#### (1) 要 旨

平成24年産の豆類（乾燥子実）の全国の収穫量は、大豆が23万5,900 tで前年産に比べて1万7,100 t（8%）増加し、小豆が6万8,200 tで前年産に比べて8,200 t（14%）増加した。いんげんは1万8,000 tで、前年産に比べて8,130 t（82%）増加した。らっかせいは1万7,300 tで、前年産に比べて3,000 t（15%）減少した。

また、平成24年産そばの収穫量は4万4,600 tで前年産に比べて1万2,600 t（39%）増加した。（表3）

表3 平成24年産豆類（乾燥子実）及びそばの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

区 分	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						( 参 考 )	
				作 付 面 積		10 a 当 たり 収	収 穫 量		10 a 当 たり 平 均 収 量 対	10 a 当 たり 平 均 収 量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比			
ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg		
大 豆	131,100	180	235,900	△ 5,600	96	113	17,100	108	105	171	
小 豆	30,700	222	68,200	100	100	113	8,200	114	nc	…	
い ん げ ん	9,650	187	18,000	△ 550	95	193	8,130	182	nc	…	
ら っ か せ い	7,180	241	17,300	△ 260	97	88	△ 3,000	85	nc	…	
そ ば	61,000	73	44,600	4,600	108	128	12,600	139	nc	…	

注：小豆、いんげん及びらっかせいの収穫量調査は主産県調査であり、3年周期で全国調査を実施している。平成24年産については全国の都道府県を対象に調査を行った。

#### (2) 解 説

##### ア 大豆（乾燥子実）

##### (ア) 作付面積

平成24年産大豆の作付面積は13万1,100haで、前年産に比べて5,600ha（4%）減少した。

これは、北海道では作付けが増加したものの、他の農業地域では他作物への転換等により減少したためである。

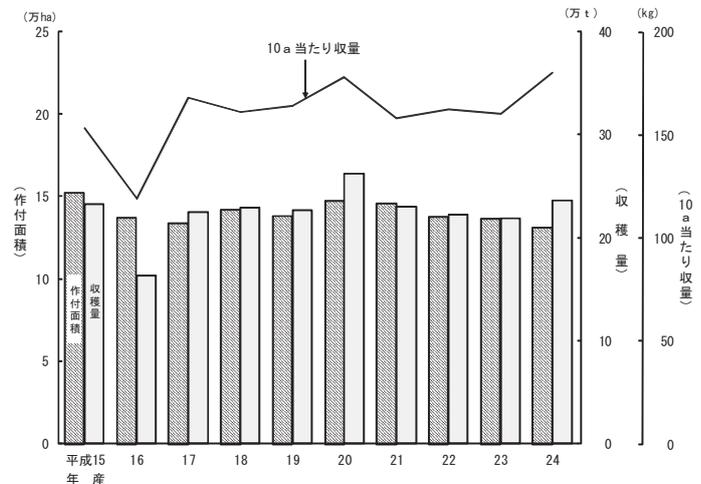
（表3、図3-1）

##### (イ) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は180kgで、前年産に比べて13%上回った。

これは、天候に恵まれ生育がおおむね良好であったためである。（表3、図3-1）

図3-1 大豆の作付面積、収穫量及び10a 当たり収量の推移（全国）



(ウ) 収穫量

収穫量は23万5,900 t で、前年産に比べて1万7,100 t (8%) 増加した。(表3、図3-1)

イ 小豆(乾燥子実)

(ア) 作付面積

平成24年産小豆の作付面積は3万700haで、前年産並みとなった。

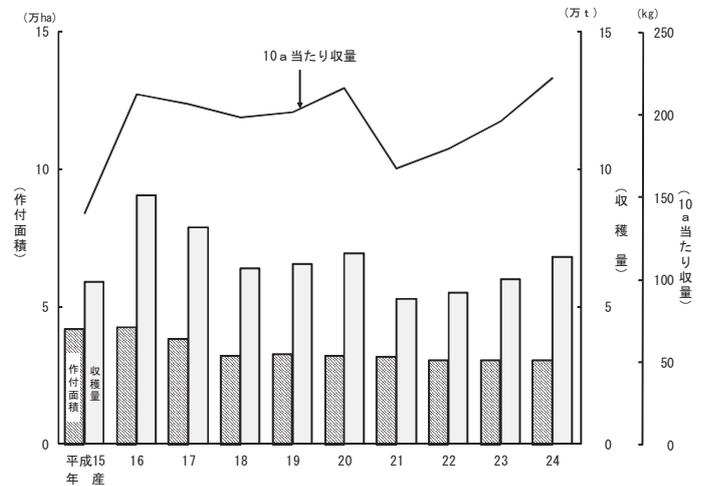
このうち、全国の約8割を占める北海道の作付面積は2万4,400haで、前年産に比べて600ha(3%)増加した。(表3、図3-2)

(イ) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は222kgで、前年産に比べて13%上回った。

これは、主産地である北海道において天候に恵まれ生育がおおむね良好であったためである。(表3、図3-2)

図3-2 小豆の作付面積、収穫量及び10a 当たり収量の推移(全国)



(ウ) 収穫量

収穫量は6万8,200 t で、前年産に比べて8,200 t (14%) 増加した。(表3、図3-2)

ウ いんげん(乾燥子実)

(ア) 作付面積

平成24年産いんげんの作付面積は9,650haで、前年産に比べて550ha(5%)減少した。

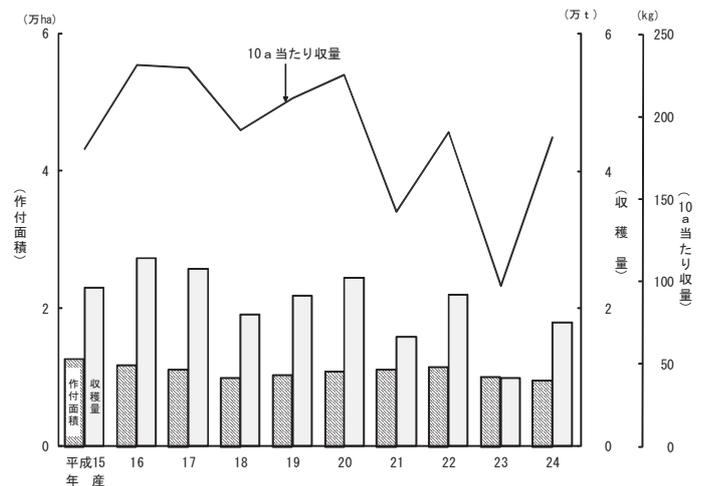
このうち、全国の約9割を占める北海道の作付面積は8,870haで、前年産に比べて460ha(5%)減少した。(表3、図3-3)

(イ) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は187kgで、前年産に比べて93%上回った。

これは、天候に恵まれ生育がおおむね良好であったことに加え、前年産において主産地である北海道で長雨や台風の影響により色流れ粒等が多く発生し作柄が悪かったためである。(表3、図3-3)

図3-3 いんげんの作付面積、収穫量及び10a 当たり収量の推移(全国)



(ウ) 収穫量

収穫量は1万8,000 tで、前年産に比べて8,130 t (82%) 増加した。(表3、図3-3)

エ らっかせい(乾燥子実)

(ア) 作付面積

平成24年産らっかせいの作付面積は7,180haで、前年産に比べて260ha (3%) 減少した。

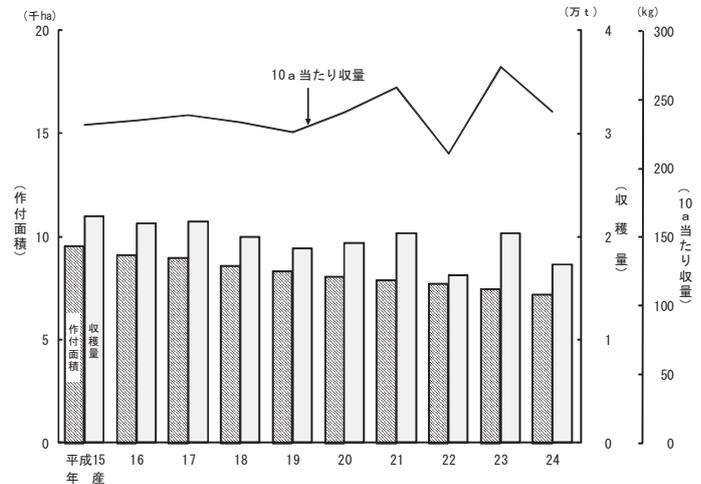
このうち、全国の約8割を占める千葉県で作付面積は5,450haで、前年産に比べて130ha (2%) 減少した。(表3、図3-4)

(イ) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は241kgで、前年産に比べて12% 下回った。

これは、8月以降の高温・少雨の影響により生育が抑制されたためである。(表3、図3-4)

図3-4 らっかせいの作付面積、収穫量及び10a 当たり収量の推移(全国)



(ウ) 収穫量

収穫量は1万7,300 tで、前年に比べて3,000 t (15%) 減少した。(表3、図3-4)

オ そば

(ア) 作付面積

平成24年産そばの作付面積は6万1,000haで、前年産に比べて4,600ha (8%) 増加した。

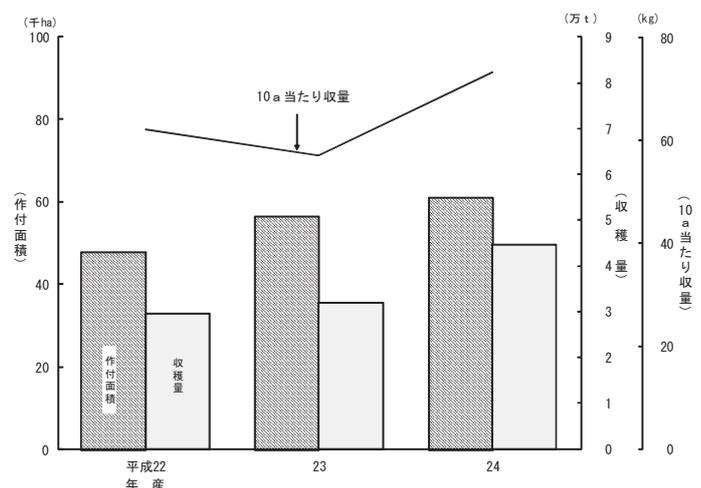
これは、他作物からの転換や不作付地への作付けによる増加等があったためである。(表3、図3-5)

(イ) 10a 当たり収量

10a 当たり収量は73kgで、前年産に比べて28% 上回った。

これは、天候に恵まれ生育が良好であったことに加えて、前年産が長雨や台風の影響等で作柄が悪かったためである。(表3、図3-5)

図3-5 そばの作付面積、収穫量及び10a 当たり収量の推移(全国)



(ウ) 収穫量

収穫量は4万4,600 tで、前年産に比べて1万2,600 t (39%) 増加した。(表3、図3-5)

## 4 かんしょ

### (1) 作付面積

平成24年産かんしょの作付面積は3万8,800haで、前年産並みとなった。(表4、図4)

### (2) 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は2,260kgで、前年産に比べて1%下回った。(表4、図4)

### (3) 収穫量

収穫量は87万5,900 tで、前年産に比べて1万 t (1%) 減少した。(表4、図4)

図4 かんしょの作付面積、収穫量及び10 a 当たり収量の推移(全国)

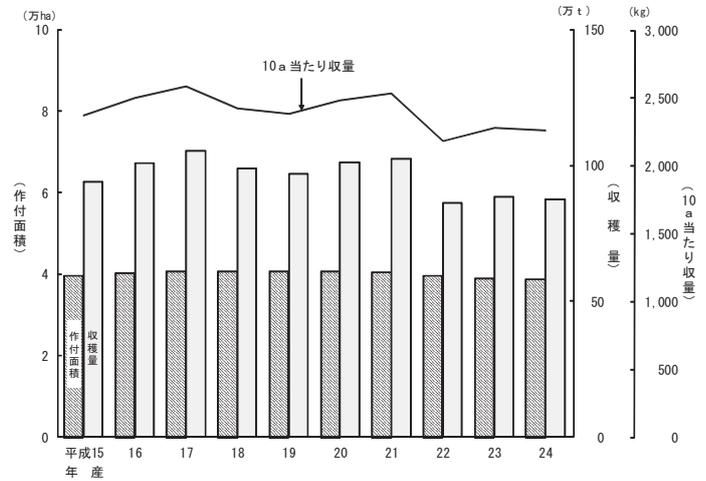


表4 平成24年産かんしょの作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量

区分	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	前年産との比較						(参考)	
				作付面積		10 a 当たり収量	収穫量		10 a 当たり平均収量対比	10 a 当たり平均収量	
				対差	対比	対比	対差	対比			
ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg		
全国	38,800	2,260	875,900	△	100	100	99	△ 10,000	99	nc	...
うち茨城	6,640	2,720	180,600		110	102	108	15,400	109	105	2,580
千葉	4,540	2,610	118,500	△	70	98	104	2,800	102	103	2,530
静岡	790	1,620	12,800	△	57	93	95	△ 1,600	89	86	1,880
徳島	1,150	2,370	27,300		0	100	109	2,200	109	99	2,400
熊本	1,170	2,200	25,700	△	30	98	96	△ 1,900	93	96	2,300
宮崎	3,200	2,450	78,400		200	107	102	6,400	109	95	2,590
鹿児島	13,800	2,320	320,200	△	200	99	93	△ 29,800	91	84	2,770

注：かんしょの収穫量調査は主産県調査であり、3年周期で全国調査を実施している。平成24年産については主産県を対象に調査を行った。なお、全国値は主産県調査結果と主産県以外の推計値を合算したものである。

## 5 飼料作物

### (1) 牧草

#### ア 作付（栽培）面積

主産県の平成24年産牧草の作付（栽培）面積は70万9,000haで、前年産並みとなった。（表5-1、図5-1）

#### イ 10 a 当たり収量

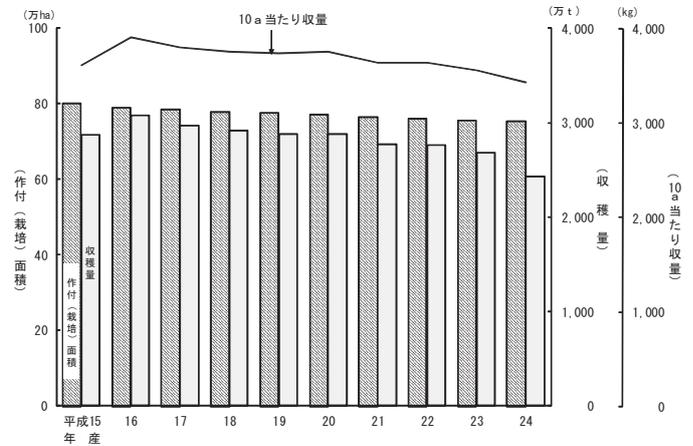
主産県の10 a 当たり収量は3,420kgで、前年産に比べて3%下回った。

これは、北海道で融雪の遅れや春先の低温の影響により生育が抑制されたことに加え、岩手県において給与自粛措置が拡大されたこと等による。（表5-1、図5-1）

#### ウ 収穫量

主産県の収穫量は2,424万3,000 t で、前年産に比べて95万1,000 t（4%）減少した。（表5-1、図5-1）

図5-1 牧草の作付（栽培）面積、収穫量及び10 a 当たり収量の推移（全国）



注：平成24年産の収穫量については、全国値の推計を行っていないため、主産県の合計値である。

表5-1 平成24年産牧草の作付（栽培）面積、10 a 当たり収量及び収穫量

区分	作付(栽培)面積	10 a 当たり収量	収穫量	前年産との比較						(参考)	
				作付(栽培)面積		10 a 当たり収量	収穫量		10 a 当たり平均収量対比	10 a 当たり平均収量	
				対差	対比	対比	対差	対比	%	kg	
全 国	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg	
全 国	750,800	...	...	△ 4,300	99	nc	nc	nc	nc	...	
主 産 県	709,000	3,420	24,243,000	△ 1,800	100	97	△ 951,000	96	87	3,920	
う ち 北 海 道	548,900	3,290	18,059,000	△ 2,300	100	98	△ 461,000	98	98	3,360	

注：1 飼料作物の収穫量調査は主産県調査であり、3年周期で全国調査を実施している。平成24年産については主産県を対象に調査を行った。

2 全国の収穫量については、全国調査を行わない年は主産県の調査結果から推計することとしているが、本年産は放射性物質調査の結果により給与自粛措置が行われた地域があったことから、全国値の推計を行わず「…」とした。

## (2) 青刈りとうもろこし

### ア 作付面積

平成24年産青刈りとうもろこしの作付面積は9万2,000haで、前年産並みとなった。(表5-2、図5-2)

### イ 10a当たり収量

10a当たり収量は5,250kgで、前年産に比べて3%上回った。

これは、北海道において、天候に恵まれ生育が良好であったことによる。(表5-2、図5-2)

### ウ 収穫量

収穫量は482万6,000tで、前年産に比べて11万3,000t(2%)増加した。(表5-2、図5-2)

図5-2 青刈りとうもろこしの作付面積、収穫量及び10a当たり収量の推移(全国)

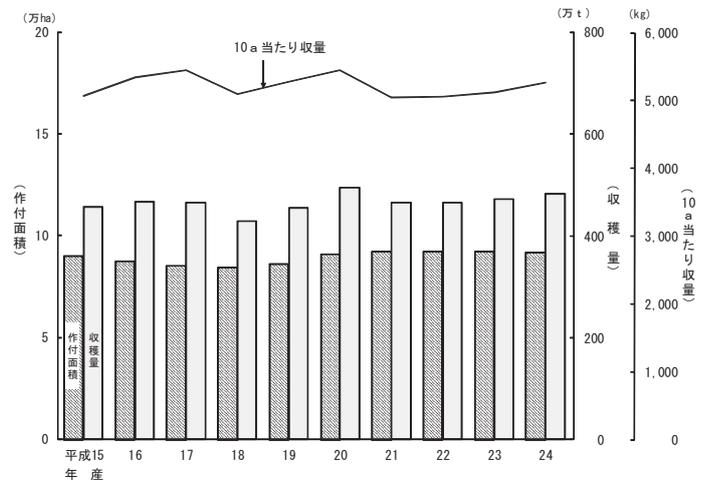


表5-2 平成24年産青刈りとうもろこしの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

区分	作付面積	10a 当たり 収量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						( 参 考 )	
				作付面積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比			
全 国	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg	
	92,000	5,250	4,826,000	△ 200	100	103	113,000	102	nc	...	
う ち 北 海 道	48,300	5,530	2,671,000	100	100	102	68,000	103	105	5,280	

注： 飼料作物の収穫量調査は主産県調査であり、3年周期で全国調査を実施している。平成24年産については主産県を対象に調査を行った。なお、全国値は主産県調査結果と主産県以外の推計値を合算したものである(表5-3において同じ。)

### (3) ソルゴー

#### ア 作付面積

平成24年産ソルゴーの作付面積は1万7,000haで、前年産に比べて600ha(3%)減少した。(表5-3、図5-3)

#### イ 10a当たり収量

10a当たり収量は5,240kgで、前年産に比べて2%下回った。

これは、九州において、6月以降の日照不足等の影響により生育が抑制されたことによる。(表5-3、図5-3)

#### ウ 収穫量

収穫量は89万700tで、前年産に比べて4万8,500t(5%)減少した。(表5-3、図5-3)

図5-3 ソルゴーの作付面積、収穫量及び10a当たり収量の推移(全国)

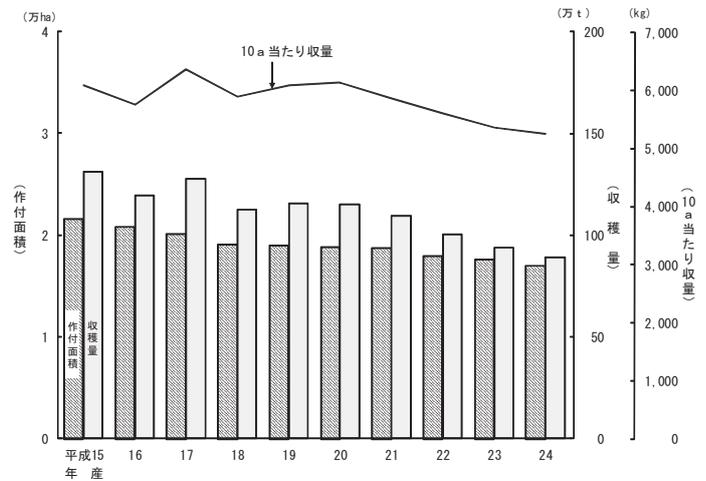


表5-3 平成24年産ソルゴーの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

区分	作付面積	10a 当たり 収量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						( 参 考 )	
				作付面積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比	%	kg	
全 国	ha	kg	t	△ 600	97	98	△ 48,500	95	%	nc	...
う ち											
長 崎	2,190	5,210	114,100		101	96	△ 3,500	97	91	5,700	
熊 本	1,210	5,930	71,800	△	80	94	△ 6,000	92	99	5,970	
大 分	1,070	5,460	58,400	△	70	94	△ 800	99	84	6,510	
宮 崎	3,670	5,420	198,900	△	150	96	△ 12,300	94	88	6,170	
鹿 児 島	2,210	6,450	142,500	△	250	90	△ 25,500	85	88	7,290	

## 6 工芸農作物

### (1) 茶

#### ア 栽培面積（全国）

平成24年産茶の栽培面積は4万5,900haで、前年産に比べて300ha（1%）減少した。（表6-1）

表6-1 茶の栽培面積（全国）

単位：ha	
区分	栽培面積
平成23年産	46,200
24	45,900
対前年産比（%）	99

#### イ 摘採実面積（主産県）

主産県の茶の摘採実面積（収穫面積）は3万8,500haで、前年産並みとなった。（表6-2）

#### ウ 生葉収穫量（主産県）

主産県の茶の生葉収穫量は40万1,300tで、前年産に比べて1万9,100t（5%）増加した。これは、天候に恵まれ生育がおおむね良好であったこと等による。（表6-2）

#### エ 荒茶生産量（主産県）

主産県の荒茶生産量は8万5,900tで、前年産に比べて3,800t（5%）増加した。府県別にみると、静岡県が3万3,400t（荒茶生産量の39%）、次いで鹿児島県が2万6,000t（同30%）、三重県が7,740t（同9%）となっている。（表6-2、図6-1）

図6-1 荒茶生産量（主産県）

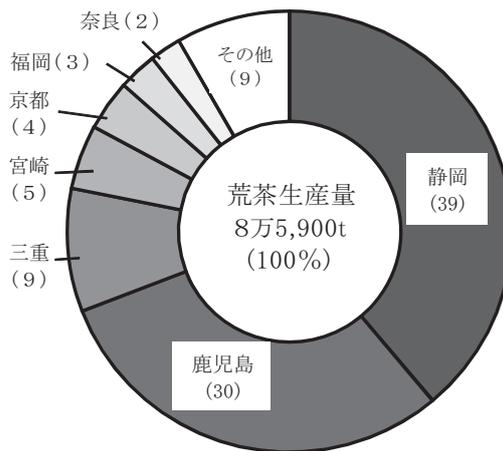


表6-2 平成24年産茶の摘採面積、10a当たり生葉収量、生葉収穫量及び荒茶生産量（主産県）

区分	摘採面積		10a当たり生葉収量			生葉収穫量			荒茶生産量		
	実面積	延べ面積	一番茶	二番茶		一番茶	二番茶		一番茶	二番茶	
	ha	ha	kg	kg	kg	t	t	t	t	t	t
平成23年産	38,600	86,700	990	428	463	382,200	165,400	116,800	82,100	34,000	23,900
24	38,500	86,400	1,040	482	457	401,300	185,700	108,300	85,900	38,100	22,000
対前年産比（%）	100	100	105	113	99	105	112	93	105	112	92

注：茶の収穫量調査は主産県調査であり、5年周期で全国調査を実施している。平成24年産については主産県を対象に調査を行った。

## (2) なたね

### ア 作付面積

平成24年産なたねの作付面積は1,610haで、前年産に比べて90ha（5%）減少した。

これは、他作物への転換等による減少があったためである。（表6-3、図6-2）

### イ 10a当たり収量

10a当たり収量は116kgで、前年産並みとなった。（表6-3、図6-2）

### ウ 収穫量

収穫量は1,870tで、前年産に比べて80t（4%）減少した。（表6-3、図6-2）

図6-2 なたねの作付面積、収穫量及び10a当たり収量の推移（全国）

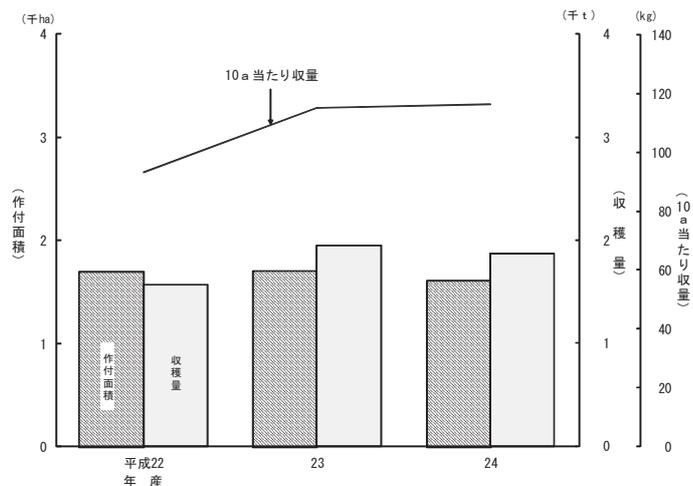


表6-3 平成24年産なたねの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

区分	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較					
				作 付 面 積		10a 当 たり 収	収 穫 量		
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比	
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	
全 国	1,610	116	1,870	△ 90	95	101	△ 80	96	

### (3) てんさい

#### ア 作付面積

平成24年産てんさいの作付面積は5万9,300haで、前年産に比べて1,200ha（2%）減少した。

これは、野菜、麦類等への転換があったこと等による。（表6-4、図6-3）

#### イ 収穫量

収穫量は375万8,000tで、前年産に比べて21万1,000t（6%）増加した。

これは、8月から9月にかけての高温及び適度な降雨により肥大が促進したことによる。（表6-4、図6-3）

#### ウ 10a当たり収量

10a当たり収量は6,340kgで、前年産に比べて8%上回った。（表6-4、図6-3）

図6-3 てんさいの作付面積、収穫量及び10a当たり収量の推移（北海道）

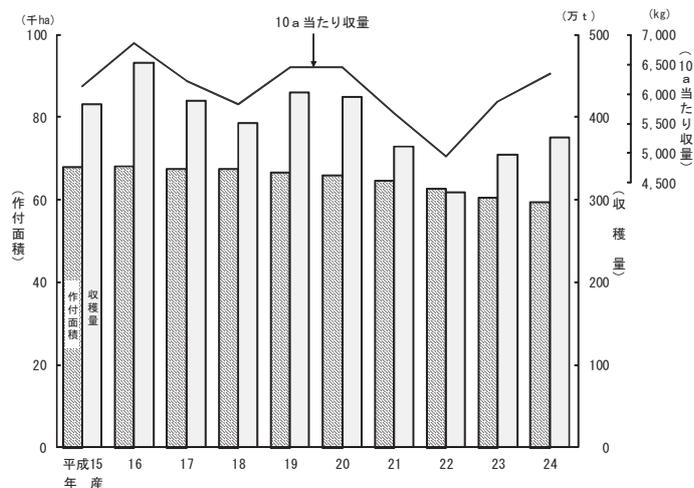


表6-4 平成24年産てんさいの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

区分	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						( 参 考 )	
				作 付 面 積		10 a 当 たり 収 量		収 穫 量		10 a 当 たり 平均収量 対 比	10 a 当 たり 平均収量
				対 差	対 比	対 比	対 比	対 差	対 比		
ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg		
北海道	59,300	6,340	3,758,000	△ 1,200	98	108	211,000	106	106	6,000	

注：てんさいの収穫量調査は、北海道を対象に行っている。

#### (4) さとうきび

##### ア 収穫面積

平成24年産さとうきびの収穫面積は2万3,000haで、前年産に比べて400ha(2%)増加した。

これは、株出し栽培の増加等があったためである。(表6-5、図6-4)

##### イ 収穫量

収穫量は110万8,000tで、前年産に比べて10万8,000t(11%)増加したものの、沖縄県を含めて統計をとり始めた昭和49年産以降で2番目に低い水準となった。

これは、台風第15号、第16号、第17号等の被害によるものである。(表6-5、図6-4)

##### ウ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,820kgで、前年産に比べて9%上回ったものの、沖縄県を含めて統計をとり始めた昭和49年産以降で2番目に低い水準となった。(表6-5、図6-4)

図6-4 さとうきびの収穫面積、収穫量及び10a当たり収量の推移

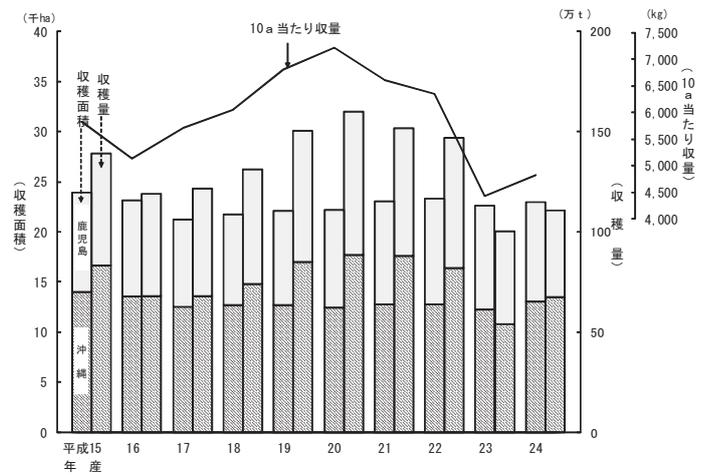


表6-5 平成24年産さとうきびの作型別栽培・収穫面積、10a当たり収量及び収穫量

区分	栽培面積	収 穫 面 積				10 a 当 た り 収 量			
		計	夏 植 え	春 植 え	株 出 し	計	夏 植 え	春 植 え	株 出 し
	ha	ha	ha	ha	ha	kg	kg	kg	kg
全 国 平成23年産	30,500	22,600	6,630	4,170	11,800	4,420	5,100	4,240	4,120
24	30,200	23,000	6,600	4,170	12,200	4,820	6,580	3,960	4,170
前年産との比較 (%)	99	102	100	100	103	109	129	93	101
鹿 児 島	11,600	10,000	1,150	2,300	6,550	4,320	5,520	4,130	4,170
前年産との比較 (%)	97	97	86	95	100	97	112	92	97
沖 縄	18,600	13,000	5,450	1,870	5,680	5,200	6,800	3,750	4,140
前年産との比較 (%)	101	106	103	106	108	118	132	98	108

区分	収 穫 量			
	計	夏 植 え	春 植 え	株 出 し
	t	t	t	t
全 国 平成23年産	1,000,000	338,000	176,600	485,700
24	1,108,000	434,200	165,200	508,200
前年産との比較 (%)	111	128	94	105
鹿 児 島	431,900	63,500	95,100	273,300
前年産との比較 (%)	94	96	87	96
沖 縄	675,700	370,700	70,100	234,900
前年産との比較 (%)	125	136	103	116

注：さとうきびの収穫量調査は、鹿児島県及び沖縄県を対象に行っている。

(5) こんにゃくいも

ア 栽培面積・収穫面積

平成24年産こんにゃくいもの栽培面積は4,070ha、収穫面積は2,240haであった。

このうち主な産地である群馬県のこんにゃくいもの栽培面積は3,410haで、前年産に比べて80ha（2%）減少し、収穫面積は1,910haで、前年産並みとなった。（表6-6、図6-5）

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,990kgであった。

このうち主な産地である群馬県のこんにゃくいもの10a当たり収量は3,230kgで、前年産に比べて11%増加した。

これは、生育期間を通じておおむね天候に恵まれ、肥大が順調だったためである。（表6-6、図6-5）

ウ 収穫量

収穫量は6万7,000tであった。

このうち主な産地である群馬県のこんにゃくいもの収穫量は6万1,700tで、前年産に比べて6,300t（11%）増加した。（表6-6、図6-5）

図6-5 こんにゃくいもの収穫面積、収穫量及び10a当たり収量の推移（主産県）

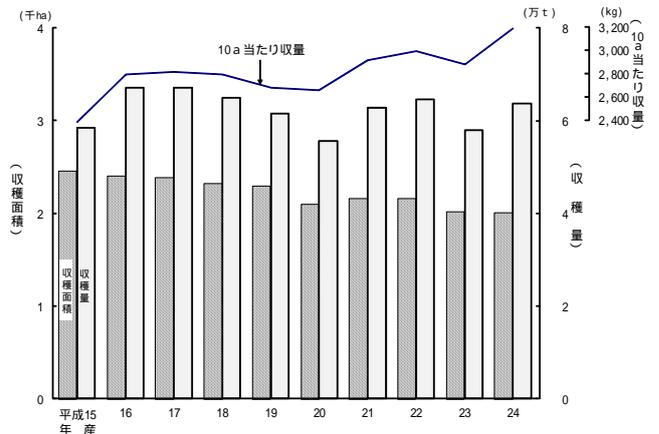


表6-6 平成24年産こんにゃくいもの栽培・収穫面積、10a当たり収量及び収穫量

区分	栽培面積 ha	収穫面積 ha	10a 当たり 収量 kg	収穫量 t	前年産との比較								(参考)	
					栽培面積		収穫面積		10a 当たり 収量	収穫量		10a 当たり 平均収量 対比	10a 当たり 平均収量	
					対差	対比	対差	対比	対比	対差	対比	%	kg	
全 国	4,070	2,240	2,990	67,000	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	...	
うち栃木	150	90	2,230	2,010	18	89	11	89	94	390	84	88	2,530	
群 馬	3,410	1,910	3,230	61,700	80	98	0	100	111	6,300	111	114	2,830	

注：こんにゃくいもの収穫量調査は主産県調査であり、3年周期で全国調査を実施している。平成24年産については全国の都道府県を対象に調査を行った。

(6) い (主産県)

ア 作付面積

主産県 (福岡県及び熊本県) の「い」の平成24年産作付面積は854haで、前年産に比べて16ha (2%) 増加した。

これは、畳表の需要が増加し畳表価格が上昇したためである。(表6-7、図6-6)

イ 10a 当たり収量

主産県の10a 当たり収量は1,240kgで、前年産に比べて8%上回った。

これは、4月から5月にかけて天候に恵まれたことに加えて、6月から7月の降雨等により伸長が良好となったためである。(表6-7、図6-6)

ウ 収穫量

主産県の収穫量は1万600tで、前年産に比べて960t (10%) 増加した。(表6-7、図6-6)

エ 畳表生産農家数及び畳表生産量

主産県の「い」の生産農家数は639戸で、前年産に比べて14戸 (2%) 減少した。

このうち、畳表の生産まで一貫して行っている畳表生産農家数は609戸で、前年に比べて29戸 (5%) 減少した。

なお、平成23年7月から24年6月までの畳表生産量は332万枚で、前年に比べて55万枚 (14%) 減少した。(表6-7)

図6-6 「い」の作付面積、収穫量及び10a 当たり収量の推移 (主産県)

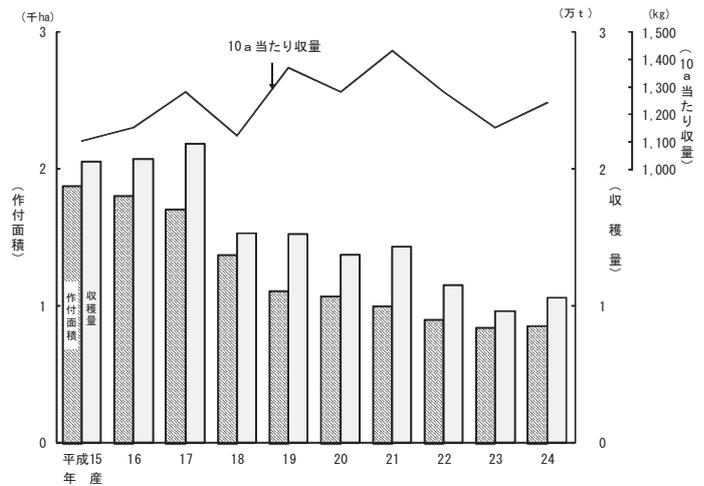


表6-7 平成24年産「い」の作付面積、10a 当たり収量及び収穫量 (主産県)

区分	「い」 生産 農家数	作付面積 ha	10 a 当たり 収量 kg	収穫量 t	前年産との比較					(参考)		畳表生産 農家数 戸	畳表 生産量 千枚
					作付面積		10 a 当たり 収量	収穫量		10 a 当たり 平均収量 対比	10 a 当たり 平均収量		
					対差	対比	対比	対差	対比				
ha	%	%	t	%	%	%	kg						
主産県計	639	854	1,240	10,600	16	102	108	960	110	98	1,270	609	3,320
福岡	19	14	1,260	176	1	108	107	23	115	101	1,250	19	64
熊本	620	840	1,240	10,400	15	102	108	910	110	98	1,270	590	3,260

注: 「い」の収穫量調査は、福岡県及び熊本県を対象に行っている。